

## 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

### 報告書資料 一般 - 95

学校名・団体名	呉市立蒲刈小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	ふるさと蒲刈を盛り上げ、地域の人を元気にしたい

#### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

##### 1 経緯

蒲刈小学校では、ここ数年来「ふるさと学習」を根幹にすえて教育を進めている。そのなかで児童は、「ふるさと蒲刈を元気にするために、自分たちに何ができるか」ということを考えて実践している。

平成28年度後半からは、「神楽」を中心に取組を進めてきた。ただ、地域に残っている神楽とは違う演目を練習し、いつか地域の方と共演したいということで、「塵倫」という演目に挑戦することとなった。「塵倫」は、地域に残っている神楽と似ている部分もあるが、それにしても練習は困難を極めた。そんなとき様々なつながりの中で、「ふるさと蒲刈を元気にするために神楽に取り組みたい」という子ども達の思いに共感し、手をさしのべてくださる神楽団があらわれた。

広島市安佐北区に拠点を置く宮乃木神楽団さんが協力してくださることとなった。何度も何度も学校に足を運んでくださり、児童一人ひとりに、ていねいに指導していただいた。そのおかげもあり、子ども達は急速に上達し、平成29年度は夏、秋、冬と3回の公演を行い、町内外の方に喜んでいただくことができた。

特に平成30年3月の卒業公演に際しては、宮乃木神楽団さんから、親交のある琴庄神楽団の皆さんにも声をかけてくださり、共演という形で公演に花を添えていただけたこととなった。また、呉市蒲刈市民センター及び蒲刈町まちづくり協議会が後援してくださることとなり、自治会、女性会を含め、まさに蒲刈町全体を巻き込んだ取組となった。

そして今年度は、児童の熱い想いと、継続的な取組を望む地域の願いと、宮乃木神楽団さんと琴庄神楽団さんのご厚意を受け、3～6年生までの児童20名が指導を受け、新しい演目（悪狐伝）に取り組むこととなった。

この取組の目的は、神楽の取組を通して、蒲刈町の活性化を図ることである。地域の方の「蒲刈をもっと元気にしたい。たくさんの方に蒲刈に来てほしい」といった、ふるさと蒲刈に対する熱い思いや願いに小学生が接し、地域の力を借りながら、また地域とともに神楽の取組をすすめていく。特に今年度は、昨年度の5～6年生による事業実施から、3～6年生により取り組むこととした。今後の児童数減少も視野に入れて、より多くの児童に基礎的な部分から細やかに指導し、新しい演目に挑戦している。そのために、宮乃木神楽団及び琴庄神楽団のみなさんに、継続して指導を進めていただいた。

この練習も町内に呼びかけ、多くの方に見学していただいた。

そして、指導していただいたことを生かし、卒業公演を企画実施した。子どもたちは、「自分たちが全力で頑張る姿を見ていただくことで蒲刈の皆さんに元気になってもらいたい」と、全力で演じてくれた。

##### 2 時期

4月～2月（毎月1回来てくださるゲストティーチャーから指導を受けての練習）、3月（卒業公演）

### 3 活動内容 (写真)

#### (1) 4月～2月の練習の様子



#### (2) 3月の卒業公演の様子



### 4 子どもへの効果

#### (1) まとめ

卒業公演は蒲刈町内外より約400名以上(昨年を上回る)観客を集め、大好評のうちに幕を閉じた。町内のみならず町外の方より多くのありがたい言葉もいただき、児童は大きな達成感と充実感、貴重な成功体験を味わうことができた。

#### 【児童の感想】

- ・地域の方が、とても喜んでくださっているの、うれしかったです。これからも神楽を練習して、もっと蒲刈を元気にしていきたいです。
- ・卒業公演をして、蒲刈以外の方が来てくれて、蒲刈のことを知ってもらえることが出来てうれしかったです。これからも、たくさんの方に蒲刈のことをもっと知ってもらい、蒲刈の良さをアピールできたらいいなと思いました。

#### 【大人の感想】

- ・感動して涙が出ました。神楽を見ている高齢の方(おそらく蒲刈町内の方)が、一生懸命に手をたたいている姿を見て、「蒲刈を元気にしたい」という子どもたちの思いは達成できたと思いました。今日一日で、蒲刈町はとても元気になったと思います。私も元気をもらいました。ありがとうございました！
- ・神楽団の皆さんの指導で、子どもたちだけでなく地域の方々も生き生きしている。とても素晴らしい教育企画だと思います。蒲刈町が神楽の町になることを祈っています。
- ・まちかで見ると感動の一日でした。小学校、中学校のみなさんも、蒲刈小学校で神楽を体験したことは、一生の宝物となるでしょうし、生きる支えとなってくれと信じています。

#### (2) 課題

神楽を含め取り組み全体を通して、児童は「ふるさと蒲刈の良さを再発見し、自分にできることを考え、行動しよう」とする態度を養うことができたと思う。

今後に向けての課題としては、とりわけ神楽については継続していくこと。そのためには経済的な支援が必要になること、上級生が下級生に精神的にも技術的にも全てを伝え、下級生も学んだことすべてを継承していくこと、これらが課題となる。